

背景 課題

国立高等専門学校は、実践的技術者の育成を目的に設立され、多くの優秀な技術者を社会に輩出し、産業界から高い評価を得ている。さらに、**ものづくりの技術にAIやIoTなどの新たな分野を融合させ、イノベーションを起こすことができる人材の育成**に取り組んでいる。

一方で、高等専門学校の教育研究設備等については、長らく更新されておらず、**老朽化・陳腐化が進行**している状況。

<施策の概要>

実験・実習を中心に実践的技術者教育を行う高専で使用する旋盤やドリル等の設備については、**安全性の確保**に加え、**企業現場で使用される先端設備を整備**することが重要。そのため、高専での教育の基盤となるこれらの設備を重点的に整備する。

<整備方針>

- ①耐用年数を大きく超過し、安全性の観点から早急に改善が必要な**設備の整備を支援**する。
- ②高専の**機能の高度化に資する新たな設備の整備を支援**する。

<スキーム> 国→(独)国立高等専門学校機構に補助金を交付

<補助対象> 独立行政法人国立高等専門学校機構

<補助率> 定 額

設備の例 1

CNC研削盤

プログラミングにより、自動で金属加工を行う工作機械。



設備の例 2

金属3Dプリンタ

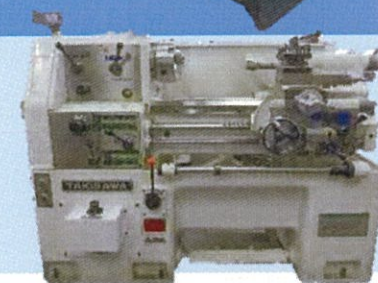
デジタルデータから複雑な形状の部品を直接造形する機械。



設備の例 3

精密旋盤

材料を切削加工するための工作機械。



成果 ものづくりの技術や人材育成の知見を生かし、イノベーション創出に貢献する人材を育成するための環境整備を推進。